

もっと清水が好きになる。

しみずの風

2018

7

No.537

特集

農業所得向上に取り組む営農指導員



おいしいをつくりましょ。

JALしみず

グローイング □ フェイス

Glowing Face

— いま、清水で輝いている人たち —

川村 研史さん (42)

エダマメ農家

お客様の「おいしい」が
一番のやりがい

周年栽培の強みを生かし、味や品質で勝負。



かわむら けんじ / エダマメ、トマト、マスクメロンなど、50aの園地でローテーションで栽培する。

静岡市清水区の南部、駿河湾に面した三保・駒越地区は、日照時間が長く、砂地の土壌を生かした施設栽培が盛んに行われている。特に、エダマメは周年栽培・出荷しており、1年を通して全国へ提供する唯一の地域だ。この地区でエダマメの施設栽培に力を注ぎ、生産者でつくるJASみずフジエス枝豆委員会の役員も務めるのが、川村研史さん。

研史さんは、11代続く農家の跡取りとして育ち、農業高校、農業大学へ進学し、23歳の時に就農。「当初は休みがないことが一番大変だった」と研史さんは話す。10年前から「川村農園C.A.F.E」を



表紙:「ASIAGAP ver.1取得を目指す
JAしみずフジエス枝豆委員会GAP研究会のみなさん」
タイトル文字:クリエイティブ書家 岩科蓮花

CONTENTS

- 2 Glowing Face
川村 研史さん
- 4 特集/
農業所得向上に取り組む
営農指導員
- 09 カラダにうれしい旬レシピ♪
「梅と鯖の円盤餃子&食べるとろろ汁」
- 10 育ててみよう♪家庭菜園
「ラッキョウを育てる」
- 12 8月の営農ワンポイント
- 15 アーカイブしみず
- 16 TOPICS
- 18 Information
- 20 ワンパクしみずっ子
「有度北こども園(清水区長崎)」



しみずの風の
記事の一部を
Web 動画で配信中!!



スマートフォン、タブレット、
パソコンから記事の一部が
動画でご覧になれます。



■妻・由香さんと夫婦二人三脚で農業に取り組んでいる。

経営し、自園で栽培・収穫した農産物を使った料理などを提供している。現在はエダマメを中心に、トマトやメロンをローテーションで栽培している。トマトを使った生ジュースなどが人気だという。店を始めてからは仕事にさらに忙しくなったが、「お客様の笑顔を見ることが楽しい。おいしいと言ってもらえるのが一番のやりがい」と充実した表情を浮かべる。

就農と同時期に由香さんと結婚し、これまで一人三脚で熱心に取り組んで来た。3年前に父からの経営を受け継ぎ、現在は研史さんが12代目となった。由香さんはもともと農家の育ちでは



■JAしみずフジエス枝豆委員会の「駒豆」は一年を通して味わう事ができる。

なく、農業へのかかわりは少なかったが、現在は園地の管理をはじめ、繁忙期に雇うパートタイマーや従業員の取りまとめなど、幅広い仕事をこなす。持ち前の明るい性格で、現場のムード



■「駒豆」はアンテナショップきらりや市内スーパーなどで販売している。

メーカーとしても活躍している。「今となっては、妻は僕よりもたくさん働いてくれるので、頭が上がりません」と研史さんは笑う。

研史さんは今後の目標として「新しい品種のエダマメも栽培を始めたので、より一層力を入れていきたい」と意気込む。「周年栽培の強みを生かし、味や品質で勝負したい」と力を込める。



特集



農業所得向上に 取り組む営農指導員



JAしみずの営農指導員は、「農協があつて良かった」の理念のもと、農家組合員の農業所得の向上に日々取り組んでいます。最近導入したタブレット端末による支援ツールでは、生産者ごとの営農実態を把握して個々にあった適切な営農指導と生産資材等の提案を行っています。

また、定期的な園地巡回や生産部会のサポート業務を行い、農家組合員と積極的にコミュニケーションをとりつつ、農作物の集荷や品質・出荷基準の確認、食育活動、販売業務、有害鳥獣対策など幅広い業務に携わっています。

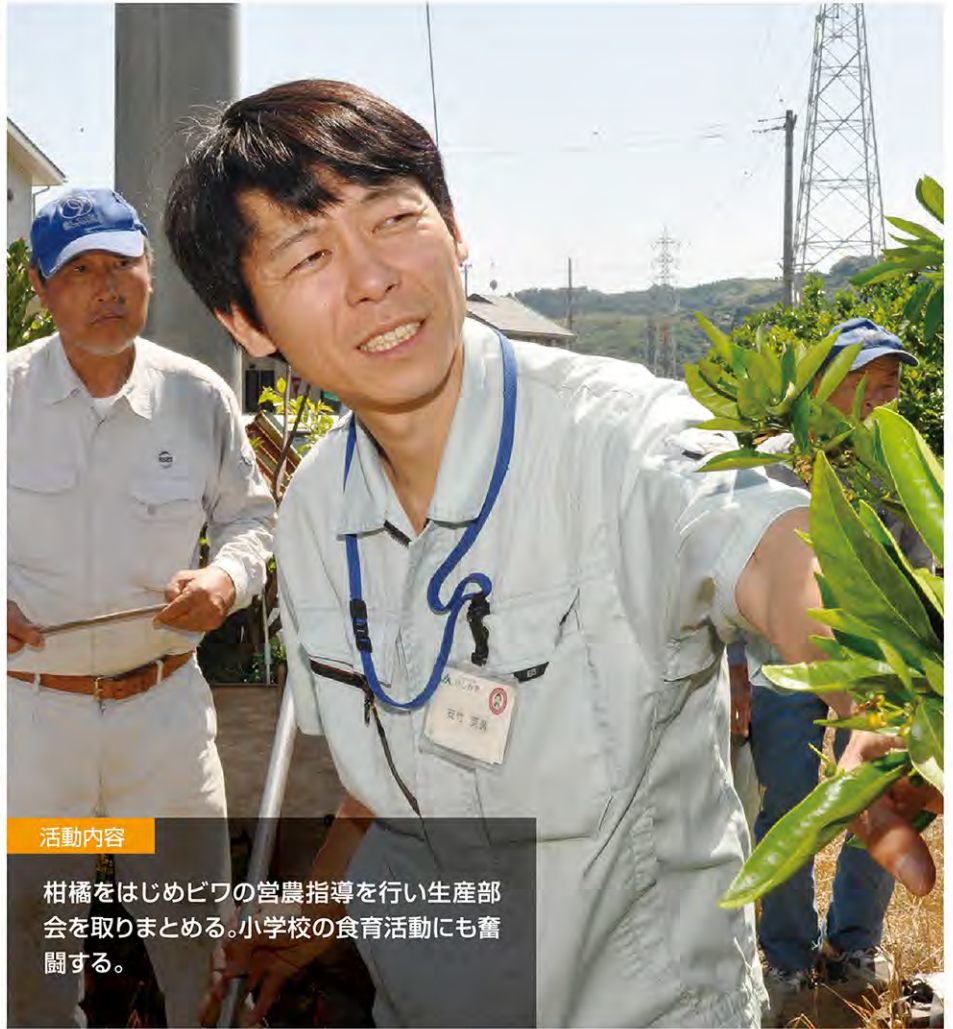
今月号では、JA管内の代表的な農作物を担当する営農指導員にスポットをあてて紹介します。



▲ タブレットで生産者と病害虫などの情報を共有



▲ タブレットを活用し青島温州の主枝別交互結実の経過を記録



活動内容

柑橘をはじめビワの営農指導を行い生産部会を取りまとめる。小学校の食育活動にも奮闘する。

農業所得向上のため柑橘連年安定生産試験を実践

やすたけ ひではる
安竹 英晴

クローズアップ

柑橘は品種によりですが豊作と不作を繰り返す隔年結果があります。豊作では着果過多で樹勢低下が起こりやすくなり、不作では樹勢は維持されますが、生産量の減少で農業収入が少なくなります。

樹勢を維持しながらの連年安定生産が理想ですが、全国でも未だ完全な是正方法は確立されていません。

私が「若手指導員研修」を受講していた平成28〜29年の2年間、指導者だった営農アドバイザー（退職）が研修場で実践していた「青島温州」と「はるみ」の主枝別交互結実に興味を持ちました。

これは1樹を東西で交互に結実させる方法で、生産量が安定し樹勢への影響も少ないと期待される新しい技術です。

生産者の協力のもと、生産圃場で試験経過を観察し3年目となりました。経過が良く隔年結果是正の手段と

して有効と考えています。

静岡県の柑橘最重点項目である「徹底した着果管理と品質向上に取組み、高品質・連年安定生産を実現する」を実践するために、主枝別交互結実が「Aしみずを起点とし、静岡県の隔年結果是正の有効な技術になるよう、今後も追究を続けます。」

東部営農センター興津営農拠点
静岡県柑橘技術者協議会 会長



生産者 中西雅士さん

安竹指導員は積極的な提案をしてくれるので心強い。生産者ももっと指導員を活用して産地力強化につなげてほしい



活動内容

バラ部会等を取りまとめて毎月定期的な会議を実施し情報共有を行う。
バラ消費拡大のために多くのイベントで品種展示を行う。



▲バラ部会では毎月定期的に役員会と全体会議を行い情報共有する



▲今秋から本格販売するフラワーボックスの試験販売に取り組んでいる

フラワーボックスでバラの消費拡大を目指す

飯田 健太郎

集出荷センター
バラ千両振興販売

クローズアップ

市場外販売によるバラ生産者の農業所得や消費拡大に少しでもつながる活動に取り組んでいます。

そんな活動のひとつが、バラの切り花をアレンジした「フラワーボックス」の販売です。フラワーボックスは、箱の高さに切った、色鮮やかな大小のバラをオアシスと呼ばれる吸水性スポンジにすき間なく刺し、小箱に詰めてアレンジしたものです。

咲きが少し緩いものや、葉の状態が悪いバラなど、花は綺麗なのに出荷できないバラがもったいないとの思いから、少しでも生産者の所得向上につながるべく商品化を目指しています。

今秋からの本格的な販売にさきをかけて、グリーンセンターでの試験販売を母の日に合わせて行いました。めずらしさもあり、11箱を完売しました。6月末まで、箱の形状や費用、作業効

率、顧客の反応などを検証する試験販売を週末限定で行いました。

バラ部会の栽培情報交換会では、フラワーボックスのこれまでの販売状況と課題を検討しています。部会員からは活動に期待する声があり、作業効率や小箱のロット仕入れを検討し、本格販売につなげられるよう準備を進めています。



静岡県のJAが提供するテレビ番組「ごちそうカントリー」では、JAしみずの「バラ」をPR。番組では営農指導員の活動や、あまり見ることのない青果市場での「競り」の場面のほか、フラワーボックスも紹介した



▲ 勉強会で説明する塩崎指導員



▲ 勉強会ではメンバー全員が集まり、毎回約2時間行われる



活動内容

エダマメ、トマト、折戸なす、葉ネギなど、三保・折戸地区の農産物全般の営農指導。

エダマメ栽培の効率化と、知名度アップをはかる

塩崎 祐志

しおざき ゆうじ

南部営農センター三保営農拠点
地域営農担当

クロノアップ

JAしみずフジエス枝豆委員
会は、国際規格を目指してい

る農業生産工程管理(ASIA GAP Ver.1)の8月の取得に向け、申請準備を進めています。会の有志6人でJAしみずフジエス枝豆委員会GAP研究会を立ち上げ、JAしみずが事務局となり、一年半かけて準備を行ってきました。

取得を目指すのは、220g袋入りでレンジパック包装された新ブランドのエダマメ「手もぎ雅」。昨年度から①エダマメ生産量の増加、②組合員の所得向上、③耕作放棄地対策の一環として、取り組んでいる露地枝豆の新商品です。今年の3月からは勉強会を月2回程度開き、申請書類の確認と注意点をメンバーで話し合ってきました。

取得により、栽培・収穫・出荷調整まで各工程の作業を見直し、効率化と生産者のリスク軽減を図ります。ASIA GAP Ver.1の取得を通

じて、エダマメの共同管理を進めていければと思っています。静岡県では茶以外、野菜での取得は珍しく、2020年に開かれる東京五輪、選手村での食材提供を視野に申請を進めています。

「JAしみずフジエス枝豆委員会」の知名度アップ。日本のみならず国外への展開も目指しています。

JAしみずフジエス枝豆委員会
清水区南部の三保・駒越地区で、日本で唯一、ハウス栽培によってエダマメを周年出荷している。主力の「駒豆」(こまめ)は鮮度に重点を置き、枝付きの状態でお出しするのが特徴。委員会の生産者約90人が年間217トンを出荷する。



▲ 今年の6月に県内JAで初めて商品化したレンジで時短調理できる新ブランド「手もぎ雅」

幅広い品目の営農指導を

こながや ゆかこ

小長谷 祐佳子

集出荷センター

クローズアップ

県内産のイチゴは、これまで「章姫」や「紅ほっぺ」が主力でしたが、現在は2014年に新たに登場した新品種「きらび香」の導入が県内全域で進められています。「きらび香」は、キラキラとした宝石のような輝き、品の良い甘みと香りが特徴のイチゴです。JASみずでも積極的な導入を進めている品種ですが、従来のイチゴよりも栽培管理が難しいという

点が挙げられます。園地巡回や生産者との情報交換を行い、栽培管理の方法を確立することが今後の課題です。

本年度は、新たな消費者層の開拓を目的に販売担当者と協力し、従来280gパックで販売していたイチゴを、アンテナショップきらりのインショップで100g入の



活動内容

イチゴをはじめ、施設野菜・露地野菜を含めた幅広い品目の営農指導を行う。



▲生産者との積極的な情報交換を心がけている

小量パックの商品を作成し、販売提案するなどの活動をしました。生産者がより効率よく仕事ができる環境づくりや、消費量拡大に向けた取り組みを心掛けていきます。

生産者と茶商との橋渡し

ますだ あきと

増田 彬人

中部営農センター

クローズアップ

吉原共同製茶組合と茂畑共同製茶組合の荒茶出荷作業をサポートしています。各工場に持ち込まれるお茶の生葉の量から荒茶に仕上がる量を計算し、販売先を検討します。お茶の生育状態や量、天候、買い手の茶商の状況を想定し、生産者のみなさんの希望を確認します。そして出来るだけ希望に添えるように販売を行う、いわば、生産者と茶商の仲介役です。その他、畑の生育調査や、品質確認、資材の提案なども行います。

庵原地域の農産物を地域の子供たちに伝える、食農教育にも力を入れています。お茶の淹れ方教室や、JASみず青壮年部庵原支部と協力してブラム、トマト、みかんの収穫体験などを行っています。

これからも地域の農業をしっかり支えていきます。



▲庵原小学校でお茶の淹れ方教室を行う



活動内容

庵原地区のお茶の営農指導。地域食農教育。



レシピ



梅と鯖の円盤餃子&食べるとろろ汁 ～昔ながらの梅干しをひと工夫～



材料 2人分

梅と鯖の円盤餃子

- 梅干し……………2個
- サバ水煮缶(固計量150g程度)……………1缶
- 餃子の皮……………12枚

具材①

- 塩昆布……………小さじ1
- 白ゴマ……………大さじ1

具材②

- みそ……………小さじ1
- チーズ(硬めで溶けないもの)……………10g
- 刻みのり……………大さじ1

具材③

- ナンプラー……………小さじ1
- シャンツアイ(刻んだもの)……………大さじ1
- 松の実……………大さじ1

食べるとろろ汁

- 梅干し……………1個
- サバ缶の汁……………50ml程度
- ショウガ……………1かけ
- 砂糖……………ひとつまみ
- しょうゆ……………小さじ1
- 長芋……………200g
- オクラ……………4本
- 焼きのり……………少々

作り方 円盤餃子

1. ボウルにサバ缶の身だけを取りだしてほぐし、梅肉を加えてよく混ぜる。(サバ缶の汁はとろろ汁で使用)
2. 仕上がり量を考えて3分割にした1を、別の容器に取り分ける。具材①、②、③をそれぞれ加えて混ぜ、3種類の味の具材を作る。
3. 2の具材を餃子の皮の中心に置き、皮の周囲に水をつける。もう1枚の皮をかぶせて空気が入らないように、少しひっぱりながら上下をあわせてフォークで周囲をおさえる。(ひとつの味につき2個作る。計6個)
4. フライパンに餃子を並べて点火し、片面3分を目安に中火でこんがり両面を焼く。(油をひいてもかまわない)。焼きあがったら取り出しておく。

作り方 とろろ汁

1. 種を取って軽くほぐした梅肉を別のボウルに入れ、すりおろしたショウガと砂糖、しょうゆを加え、サバ缶の汁で溶きおぼす。
2. 長芋の皮をむいて厚手のポリ袋にいれ叩く。1を加えてよくもんで馴染ませ、薄切りにしたオクラを入れる。もんだ焼きのりを加え軽く混ぜて器に盛る。



遠山 由美

野菜ソムリエ上級プロ
NR、食育プロデューサー
他<略歴>

日本初の「シニア野菜ソムリエ」第1号取得者。野菜や果物の魅力を料理、栄養学、食育など多くの手法で伝え、生産者と消費者の掛け橋として、テレビやラジオなど多方面で活躍中。

旬と季節のまめ知識



梅

昔から健康との関係が注目される「梅」。ムメフラールによる血流改善、バニリンによる体脂肪の代謝促進、梅リグニンによるピロリ菌の運動抑制など新しい研究成果も報告されていますが、実験動物とは異なる人体の仕組みを考えたり、適切な塩分摂取量を考慮したりすると、効果を得るのは非現実的と言わざるを得ません。季節感あふれる梅仕事やおいしい梅の食べ方を通して和食文化を伝承してくれる「梅の効果」に期待しましょう。

家庭菜園

育ててみる

ラッキョウを育てる



特性とポイント

土壌への適応性は極めて広く、やせ地などでも十分栽培できます。傾斜地などの利用にも良いです。

生育期間が大変長いので、畑の利用計画をよく練って作付けする必要があります。また1年目で収穫せずに、そのまま置く2年据え置き栽培もできます。

品種には大球種の「ラクダ」や小球種の「玉ラッキョウ」などがありますが、「玉ラッキョウ」は小粒で酢漬けの花ラッキョウに用いられます。

1 球根の準備

6月に収穫し、乾かしておいたもの。



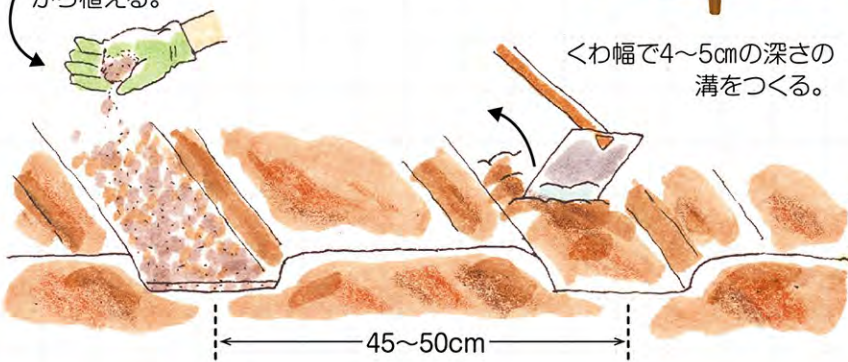
1球ずつばらして枯れ葉を取り除く。



2 畑の準備

くわ幅で4~5cmの深さの溝をつくる。

ネダニ防除のため、ネマトリンエース粒剤を植え溝にばらまき、土壌と混和させてから植える。



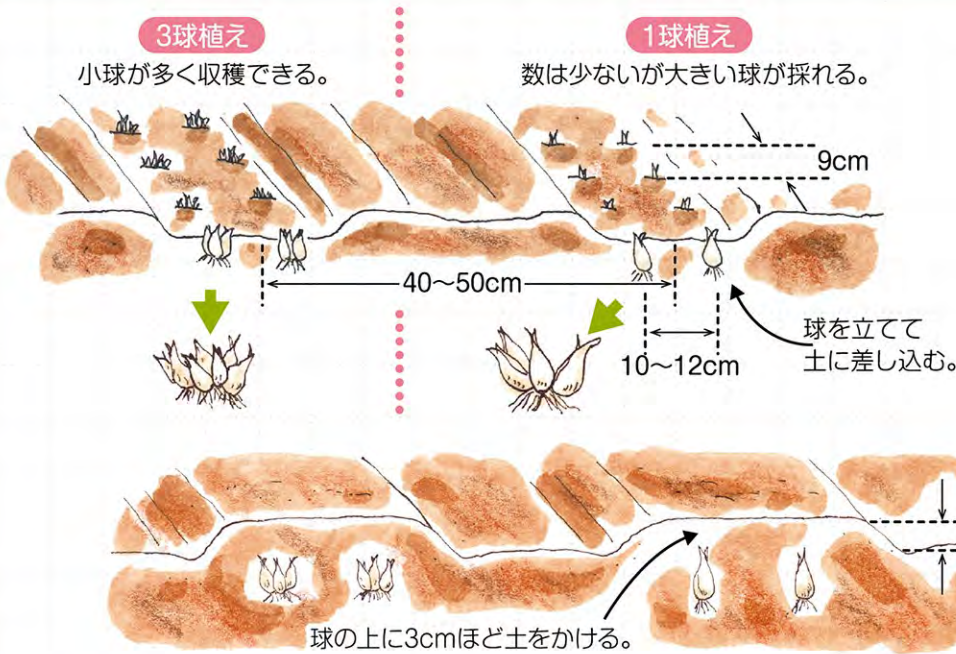
3 植えつけ

3球植え

小球が多く収穫できる。

1球植え

数は少ないが大きい球が採れる。



栽培カレンダー

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
普通栽培	1年目								◆	◆			
	2年目						■						
2年据え置き栽培	1年目								◆	◆			
	2年目												
	3年目						■						

◆ 植えつけ ■ 収穫

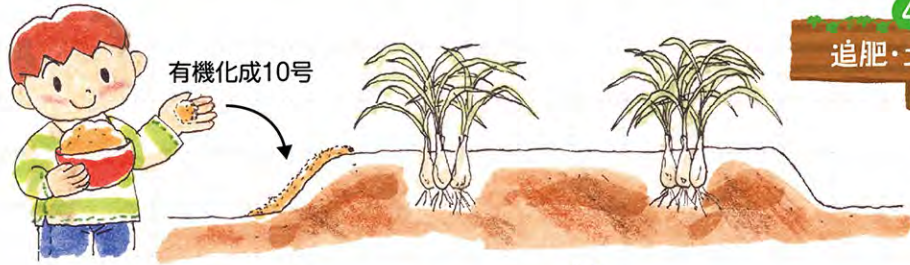
※ 上記の肥料・農薬は、JAグリーンセンターでお買い求めいただけます。 ※ 農薬は、ラベルに記載された安全使用基準を守って使用しましょう。

☞ ご注意ください ☜ 毒物、劇物に指定されている農薬は、購入の際に印鑑が必要です。

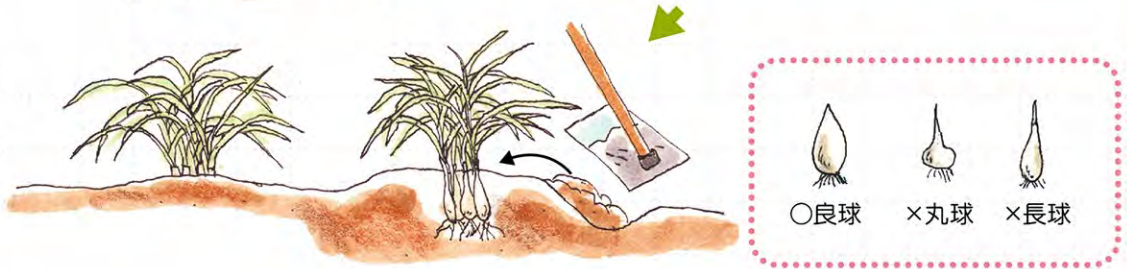


集出荷センター
054-367-6111

やせ地でもよくできるので、肥料は通常施さなくても良いが、あまりにも葉色が薄いようなら2~3月ごろに追肥し、軽く土と混ぜる。



3~4月の盛んに育ってきたころ土寄せする。土寄せをしないと長球や丸球が増え、良球率が低くなる。



翌年6月下旬~7月上旬、長卵型に肥大し、球の芯の青みがごく少なくなったころ、葉が完全に枯れる前に収穫する。



かまで刈り取り、くわで球を掘りあげる。



ここが
知りたい!
Q&A

Q

小さなラッキョウの作り方は?

A

1年で掘り取らず、2~3年据え置きにする。

普通栽培では、植えた翌年に増えた球を収穫しますが、これを翌年は掘り取らずそのままにしておくと、それぞれの球がまた分球するので、翌々年には大変多くの球を収穫することができます。これを2年据え置き栽培といいます。数が多いので一つ一つの球は小形になりますが、これがまた小粒の「花ラッキョウ」として珍重されます。

グリーンセンター直売

2017年7月の
売上ランキング

1位	トマト
2位	菊
3位	切花
4位	トウモロコシ
5位	キュウリ

■施肥例

施肥量: 1坪あたり

種類		施用量	備考
元肥	苦土石灰	300g	は種20~30日前
	完熟堆肥	3kg	
	有機化成10号	250g	は種10~15日前
追肥	有機化成10号	130g/回	葉色が淡いときに追肥

■病害虫防除

施肥量: 1坪あたり

対象病害虫	薬剤名	希釈倍率、使用量	使用時期	回数
ネダニ	ネマトリンエース粒剤	50g/坪	植付け前 植溝土壌混和	1回
さび病	カリグリーン	800倍	収穫前日まで	---



8月の営農ワンポイント

茶

8月は、翌年一番茶の親葉となる三番茶の生育期間です。

光合成が活発に行われる夏から秋までの期間に葉層を確保し、茶樹自身の力を活性化させ、翌年の一番茶において高品質な生葉が生産できるように、樹勢の強い茶園作りをしていきましょう。



防 除

8月の最も重要な茶園管理は、三番茶の防除です。害虫に対しては、初期防除を徹底してください。また、病害防除は気象を見ながら予防剤と治療剤を使い分けることが重要です。昨年、褐色円星病により、一番茶時に旧葉が落葉した茶園では、三番茶芽が生育停止時期となる8月中旬ごろに予防剤を混用散布しましょう。

表① 防除(茶)

散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	日数	茶期 使用回数
三番茶 萌芽~1葉 開葉期	炭疽病・もち病・新梢枯死症・輪斑病	フロンサイドSC	2,000倍	14日	1回
	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメココバイ ツマグロアオカスミカメ	ウララDF	2,000倍	7日	1回
	チャトグコナジラミ チャノキイロアザミウマ チャハマキ・チャノココクモンハマキ チャノホソガ・ヨモギエダシヤク	ディアナSC	5,000倍	前日	1回
三番茶 2~3葉 開葉期	炭疽病・もち病・褐色円星病	インダーフロアブル	5,000倍	7日	2回
	チャトグコナジラミ チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメココバイ チャノココクモンハマキ・ヨモギエダシヤク カンザワハダニ・チャノナガサビダニ チャノホコリダニ・マダラカサハラハムシ	コテツフロアブル	2,000倍	7日	2回
8月中旬	チャハマキ・チャノココクモンハマキ チャノホソガ・ヨモギエダシヤク	フェニックスフロアブル	2,000倍	7日	1回

※1 : 二番茶摘採後に降雨が続く場合は、フロンサイドSCに替えてスコア顆粒水和剤2,000倍(7日-2回)を散布する。
 ※2 : チャノキイロアザミウマ、チャノミドリヒメココバイが発生している場合は、フェニックスフロアブルに替え、エクシレルSE2,000倍(7日-1回)を散布する。
 ※3 : この時期に緑化が遅れている圃または降雨が続く事が予測される場合は、コサイド3000 1,000倍(14日)を早めに散布する。

★ 展着剤アピオンE(1,000倍)を加えることで、耐雨性が向上し予防効果の持続が期待できる。

施 肥

J Aが実施する土壌分析を活用し、茶園土壌の状態を確認しましょう。深耕を行う前に土壌改良材を施用します。表②の基準に沿って実施してください。有機物が不足している茶園では、土づくり資材を投入してください。

表② 施肥(茶)

(10aあたり)

施肥名	施肥時期	コース名	肥料名	袋数
土壌改良	7月~8月(深耕期)	「基本」「樹上・省力」	苦土石灰(粉)	5袋

※苦土石灰(粉)が撒きにくい場合は、苦土石灰(粒)に変更してください。

か ん 水

夏場に乾燥が続いた場合、干害の症状が現れる前に、かん水を実施してください。更新園においては、新芽の生育に影響が出やすいので、特に注意が必要になります。土壌を掘って、20cm位まで水分が無い場合は、目安として4t/10aを4日から5日に分けてかん水してください。また、熱中症等を避けるためにも、朝夕の涼しい時間帯に作業を行いましょう。

深 耕

深耕は、土壌の物理性を改善することで、根の生育に適した環境を作るために必要な作業です。深耕によって団粒構造が形成され、透水性・通気性が高まり保肥力・保水力の優れた土壌になります。また、有効土層が深くなることで再生根が健全に増長し、活力の高い根となります。活力の高い根が多く張ることにより、肥料の吸収効率が高まり、品質の高い生葉づくりにつながります。

なお、実施時期は、三番茶の生育停止時期となる8月中旬ごろとし、根が活性化する前に行います。深耕の時期が遅れてしまうと、根が回復しないうちに秋を迎えることになり、翌年一番茶の生育への影響が生じる恐れがあるので、適期に実施するよう注意しましょう。

オススメ
土づくり
資 材

★土づくり資材:

有機発酵肥料「スーパー響土」(11kg)目安:10aあたり20~50袋

コーヒー粕や茶関連粕、食品余剰菌体、米ぬか等をじっくりと発酵させた食品系の汚泥発酵肥料です。チッソ含有量は3%です。





柑橘

●病害虫防除

表①を参考に防除してください。スリップスの発生に注意し、散布時期を調整してください。また、夏期は原則ミカンハダニの天敵保護に努めてください。

表① 病害虫防除(柑橘)

品目	散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準 ^{※1}	茶登録
青島	7月下旬～ 8月上旬	チャノキイロアザミウマ	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	前日-3回	○
		黒点病	ベンコゼブ水和剤	600倍	30日-4回	×
	8月下旬～ 9月上旬	チャノキイロアザミウマ	キラップフロアブル ^{※2}	2,000倍	21日-2回	○
		ミカンハダニ	ダブルフェースフロアブル	3,000倍	前日-1回	○
中晩柑	7月下旬～ 8月上旬	チャノキイロアザミウマ	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	前日-3回	○
		黒点病	ベンコゼブ水和剤	600倍	90日-4回	×
	8月下旬～ 9月上旬	チャノキイロアザミウマ	キラップフロアブル	2,000倍	21日-2回	○
		ミカンハダニ	ダブルフェースフロアブル	3,000倍	前日-1回	○
		黒点病	ベンコゼブ水和剤	600倍	90日-4回	×

※1 使用基準は「収穫前日数-散布回数」をあらわします。

※2 キラップフロアブルについては着色期以降に使用すると葉害が発生する恐れがあるため、使用しない。

～その他注意点～ 夏期は原則ミカンハダニの天敵保護に努める。しかし、多発時にはコロマイト水和剤2,000倍(7日-2回)を散布する。

●管理作業

青島温州へのマルチ資材の被覆は増糖効果が期待できます。被覆完了時期は8月上旬までです。極早生や早生、中晩柑は仕上げ摘果の時期です。表②を参考に摘果してください。

中晩柑の減酸対策として10月ごろまで水分管理に努め、園地や樹体の状況に応じてこまめなかん水を実施してください。



表② 管理作業(柑橘)

品目	摘果する果実	残す果実	摘果終了時期目安	最終適正果実比
極早生	・日焼け果・外観不良果・軸太果 ・天なり果	軸の細い大きな果実	8月上旬まで	20枚に1果
早生温州			8月中旬まで	25枚に1果
はるみ	直花果、軸太果、樹上1/3全摘果(主枝・亜主枝先端)、内・裾なり果、極小果、奇形果、腰高果、傷害果	・外周部の有葉果 ・10cm以上で5枚程度の有葉果 ・果梗枝の細い有葉果	8月中旬まで	120枚に1果
太田ボンカン	直花果、短い有葉果、軸太果、樹上1/3全摘果(主枝・亜主枝先端)、内・裾なり果、極小果、奇形果、腰高果、傷害果		9月上旬まで	100～120枚に1果

落葉果樹

●病害虫防除

表③を参考に防除してください。

病害虫予防のため、園内清掃に努めるとともに通風・採光を良好に保ちましょう。イチジクでは、アザミウマ類の発生に注意してください。

表③ 病害虫防除(落葉果樹)

静岡県落葉果樹振興協会発行栽培暦より抜粋

品目	散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	使用基準 ^{※1}
イチジク ^{※2}	8月	アザミウマ類	スピノエース顆粒水和剤	5,000倍	前日-1回
		疫病	ランマンフロアブル	2,000倍	前日-3回
		さび病	ラリー水和剤	2,000倍	前日-4回
柿(次郎、四ツ溝)	8月上旬	フジコナカイガラムシ	モスピラン顆粒水溶剤(劇) または、オリオン水和剤40(劇)	2,000倍	前日-3回
		カキノハタムシガ		1,000倍	21日-3回
梨(幸水、豊水)	8月上旬	ハマキムシ類	アグロスリン水和剤(劇)	1,000倍	前日-3回
		シンクイムシ類			
		カメムシ類			
キウイフルーツ(レインボーレッド)	8月中旬	果実軟腐病	トップジンM水和剤	1,000倍	前日-5回

※1 使用基準は「収穫前日数-散布回数」をあらわします。

※2 ショウジョウバエが多発する場合は、アーデント水和剤1,000倍(前日-2回)を散布する。

●管理作業

表④を参考に施肥を実施してください。

夏季の乾燥で葉の萎れや、落果のおそれがあります。果実の肥大や樹勢に影響するため、乾燥時にはかん水するようにしてください。

梨やイチジクは収穫時期になります。日中は、気温が高く果実が傷みやすいため、比較的気温の低い時間帯に収穫してください。また、腐敗果の発生がないよう丁寧な収穫と選別を心掛けてください。

表④ 施肥(落葉果樹)

(10aあたり)

品目	施用時期	肥料名	施用量
イチジク	8月中旬	粒状固形30号小粒	1.5袋
プラム	収穫後	尿素化成高度35号	2袋



果樹全般

★カメムシの発生に注意し、必要に応じて薬剤散布を実施してください。不明な点については地域の営農センターまたは営農拠点へお問い合わせください。



8月の営農ワンポイント

そさい
花卉

花卉

～ 高温期の栽培管理 ～



● バラ

高温期は、株の体力が落ちて病害が発生しやすくなることから、ハウス内の遮光と換気を徹底しましょう。高温対策として、ヒートポンプによる夜冷を推奨します。また、高温乾燥状態では、ダニやスリップスが急増するので、発生状況を確認しながら薬剤散布を徹底してください。特に、施設内外における雑草が害虫の発生源となることから、除草をしっかりと行ってください。

● センリョウ

8月から9月は、センリョウの誘引と夏芽の除去の適期です。出荷時の品質を大きく左右するので、必ず実施してください。誘引は、実が肥大するにつれて重みで倒伏するのを防ぐために行います。誘引場所は、枝の最上部から三段目程度の分枝部分です。夏芽の除去は、枝が硬化する前に行ってください。

イチゴ

～ 本圃準備 ～



収量を上げるためには、土作りをしっかりと行うことが必要不可欠です。安定生産のために、土壌消毒などの病害虫対策と併せて、土作りをしっかりと行いましょう。また、ハウス被覆期間が長くなるにつれて連作による塩類集積も起こりやすくなります。たん水処理や雨にあてる期間を設けることに配慮し、連作障害を回避しましょう。

● 土壌消毒

炭そ病、萎黄病、センチュウなど、対象に応じた薬剤を使いますが、十分にガス抜きを行いましょう。処理～ガス抜きまで3～4週間をみて、土作りはガス抜き確認後に行いましょう。

● 土作り

未熟な家畜糞尿堆肥は余分な塩類を含んでいることが多いため、堆きゅう肥は完熟品を使用しましょう（キノックス等の樹皮堆肥は、繊維質が多く腐植補給に効果大きい資材です）。ケイントップやワラ等の未熟植物性有機は、物理性改善効果もあり腐植が多く肥沃な圃場向きです。ただし、定植の45日前までに施し、十分に分解させましょう。

● 施肥の考え方

紅ほっぺは、大果・多収・連続出蕾が特徴の反面、肥料切れは禁物です。ロング入り肥料を利用し、中盤以降の肥効を保つようにしましょう。

きらび香は、全体の施肥量は紅ほっぺと同等ですが、元肥量は少なくしてください。また、障害果発生防止のため、一度に多量施肥を行わないようにしましょう。

● 育苗管理

病害虫防除は、炭そ病、うどんこ病、ハダニを中心に行ってください。

施設内のポット育苗は高温になりやすく株の体力が消耗しやすいため、対策として遮光資材や循環扇を使用し、ハウス内温度を下げましょう。

また、育苗期の置き肥による追肥は紅ほっぺは8月下旬、きらび香は8月中旬を最終にし、その後は株の状態を見ながら液肥で調整します。

水稲

～ 防除と出穂前後の水管理 ～



● 病害虫防除

8月は紋枯病・いもち病・ウンカ類・ニカメイチュウ・コブノメイガ・カメムシ類の防除時期となります。発生する病害虫の種類・時期・程度は年によって異なるため、本年の気象状況に注意して的確な防除を心掛けてください。

出穂期間際の水田周辺の畦や土手の除草は、かえってカメムシ類を本田へ追い込む恐れがあるため、出穂期の約10日前から黄熟期までは除草を控えるようにしてください。しかし、カメムシ類が大量発生した際には防除（トレボン乳剤、スタークル顆粒水溶性剤など）する必要があります。薬剤散布における収穫前日数には十分ご注意ください。

● 水管理

穂ばらみ期（出穂10日～14日前）から出穂期の間は茎葉からの蒸散量が多く、水分不足が穂の伸長に影響するので水を切らさないようにします。

また、出穂後からは根の老化が始まりますので、今ある根を健康に長く維持させていくことが重要です。出穂期以降は7日入れて3日干す間断かん水にします。この方法は、常時かん水よりも根の活性が高まり、倒伏・秋落ちを防止して登熟歩合の向上につながるメリットがあるので必ず実行しましょう。



このコーナーでは、清水区内の昔懐かしい風景や行事、建物などの古い写真を随時募集します。

昭和40年代頃までの古い写真をお持ちの方は、広報課(TEL367-3221)までぜひご一報ください。



清水の歴史を
貴重な資料で振り返る
[archive-3]



山原無線中継所の増築工事(昭和30年代後半)

資料提供:小川幸洋さん



【現在の山原無線中継所】

清

水区の夜景スポットとしても有名な山原無線中継所。山頂には巨大なアンテナが立っています。

写真の左下には増築のための足場が掛けられています。当時は山頂までの道路が整備されていませんでした。一日で平均7往復する日本電信電話公社のマークがついたロープウェイでは作業員や機器、資材などを運搬していましたが、ふもとから山頂までの道路が整備されたことから昭和58年に撤去されました。この写真からも当時の増築工事の大変さがうかがい知ることができます。

かつての中継所はテレビが好きな近所の子どもたちの遊び場でした。テレビ放送の中継所でもあった建物内部を見学することができたことから、清水では放送されていない東京や名古屋のチャンネルを見ることができました。見学を終えた子どもたちは、お茶刈りの終わった茶畑で日が暮れるまで遊んでいました。



JAしみずが、各地域の活動やイベントなど、さまざまな話題を独自に取材し、ご紹介いたします。

ミカン安定出荷に向けて一丸

第32回JAしみずみかん大会



当JAは「第32回JAしみずみかん大会」を5月31日、清水文化会館マリナートで開き、柑橘生産者やJA関係者など、約250人が参加しました。

2018年度のミカン振興方針として、安全で高品質な果実を安定的に消費者に届けることにより、農家所得の向上につながるよう、生産者と組織が一丸となって取り組む方針です。また、「隔年結果是正に取り組み、出荷量を安定させる」「販売力の強化により、共選場販売金



▲表彰を受ける朝倉克年さん



▲柑橘生産者やJA関係者約250人が参加したJAみかん大会

額を増加させる」「安全な果実を生産する」を重点的に実践することに決まりました。

大会長の柴田篤郎組合長は「柑橘委員会と生産者、JAが一体となり隔年結果是正と高品質栽培に努めてほしい」と参加者に呼びかけました。

初夏の果物として人気

興津「ピワ」を地元市場に出荷



JAしみず東部集荷場で6月4日、ピワの出荷が始まり、初日には生産者やJA担当者など約25人が品質の基準などを確認した後、地元の青果市場に約330kg出荷しました。

同区興津地域のピワ生産者で組織する興津びわ部会の

飯田通義部会長は「昨年産よりも若干小ぶりだが、気温の上昇により甘みも強く、おいしく仕上がっている」と自信を見せていました。

露地栽培のため6月の2～3週間しか出荷されませんが、初夏の果物として人気です。



▲出荷基準や品質の最終チェックをする安竹英晴指導員

甘酸っぱい初夏の果物

「大石早生」の出荷がスタート

初夏を告げる果物、露地スモモ「大石早生」の出荷が6月1日、JA集出荷センターで始まり、初日には部会員やJA職員ら約20人が目ぞろえ会を開き、色づきや大きさ、傷の具合など出荷規格を確認しました。

昨年度産が例年に比べ不作となったことから、今年度は初の試みとして人工授粉を実施。プラム部会の伏見充敏部会長は「実の付きが良く、収量も増えた。ぜひプラムを食べて、季節を感じて欲しい」と話しました。

品種を替えながら8月上旬まで出荷が続きます。



▲目ぞろえ会で出荷規格を確認する参加者



5月9日開催／大人の遠足

久能山東照宮見学とトマトの収穫体験

ハーベストカレッジ5月の講座は、清水の魅力を再発見するためのシリーズ「大人の遠足～三保編～」を開催しました。駿府ウェイブボランティアガイドの案内のもと、久能山東照宮を散策。初めて見学した受講生もいて、興味深そうにガイドの説明に聞き入っていました。

午後は、三保にある小松修三さんのトマトハウスで、レッドオーレの収穫体験をしました。レッドオーレは、清水区の三保・折戸地域で生産されているトマトの品種で、フルーティーな甘さと程よい酸味が特徴です。採れたてをその場で食べるなど、収穫を楽しみました。



トマトの説明に聞き入る受講生▶



鳥獣による被害減へ

有害鳥獣対策講習会を開催

JAしみず青壮年部は5月28日、鳥獣被害を少しでも減らそうと、静岡市の職員を講師に有害鳥獣対策講習会を開きました。鳥獣被害の現状と生態についての講習を受けた後、くくりわなや箱わなの設置についての説明や、捕獲数を上げるための工夫などの説明も受けました。

青壮年部は3年前から講習会を年2回ほど定期的に行っており、若手農家に狩猟免許の取得や、猟友会への入会も勧めています。



講師の説明を熱心に聞く参加者▶

清水警察署が感謝状を贈呈

振り込め詐欺防止で袖師支店を表彰

清水警察署は5月30日、振り込め詐欺被害の未然防止に貢献したとして、袖師支店の一ノ宮敬伸支店長と金融窓口担当の清水浩太職員に感謝状を贈りました。

来店客から、定期貯金300万円を引き出したいと依頼を受け、理由を聞いたところ、不審な点があったため一ノ宮支店長に相談し、警察に連絡しました。清水職員は「改めて詐欺が身近なものだと感じた。今後も注意して対応したい」と話しました。



▲感謝状を受け取る袖師支店の一ノ宮支店長(写真右)と清水職員(写真右から2番目)

親子で食や農の大切さを学ば

「親子であぐりん」開校式

JAしみず女性部は6月2日、野菜の栽培から調理までを親子で体験し、農業や食の大切さを学ぶ食育クラブ「親子であぐりん」の開校式を開きました。清水区内の親子18組やJA女性部、青壮年部、JA職員など約70人が参加し、農作業に汗を流しました。

女性部が苗の植え方や肥料のまき方、青壮年部が耕運機の使い方や畝のつくり方を指導し、畑にサツマイモやサトイモ、ショウガなどを定植しました。

11月の収穫に向けて草取りなどの管理作業を行い、12月に収穫した野菜でカレーをつくり、味わう予定です。



女性部の説明を熱心に聞く参加者▶



本年産の豊作を祈念

久能山東照宮で「折戸なす」奉納祭



徳川家康公に初物が献上された記録が残る「折戸(おりど)なす」の生産者で組織するJAしみず折戸なす研究会は6月1日、久能山東照宮で奉納祭を行い、本年産の豊作を祈念しました。最盛期の6～7月を迎える前に毎年行っており、今年で12回目となります。生産者や販売振興の関係者ら10人が神事に臨みました。

柴田明生会長は「奉納祭は今後も続けたい。歴史ある美味しい折戸なすを多くの消費者に知ってもらいたい」と話していました。



折戸なすを奉納する柴田会長▶

夏定期

2018
サマー
キャンペーン

【お預け入れ金額】20万円以上 1,000万円未満
【取扱期間】平成30年6月11日(月)～7月31日(火)

新規でのお預け
スーパー定期1年
店頭表示金利に

0.20% 上乗せ

※新規とは、当JA以外から新たにお持ちいただいた資金となります。

普通貯金からの預け替え
スーパー定期1年
店頭表示金利に

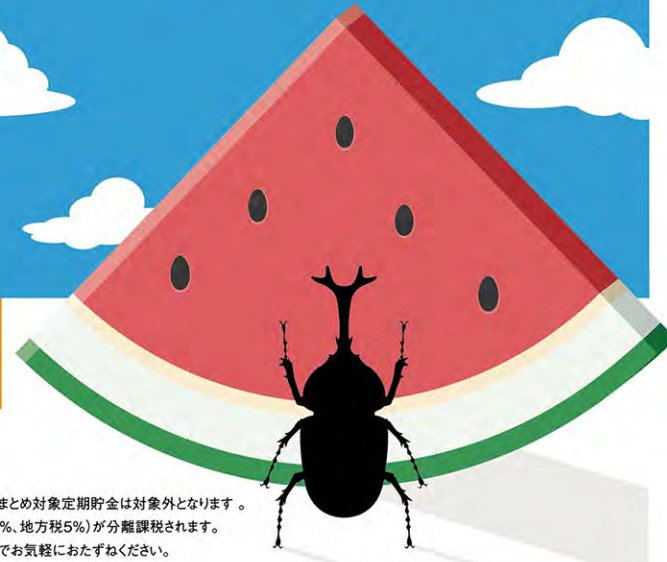
0.10% 上乗せ

JAバンク静岡 夏の貯金キャンペーン
食の王国しずおか わくわくプレゼント

期間中、定期貯金をご契約の方の中から抽選で『静岡の美味しい農畜産物』が当たる!!

※既に当JAにお預けいただいている定期貯金から、本商品に切りかえることはできません。
※中途解約する場合は、当JA所定の中途解約利率を適用します。
※自動継続時の利率は、店頭表示金利となります。

※ATM定期貯金とメリットのおまとめ対象定期貯金は対象外となります。
※利息に20.315%(国税15.315%、地方税5%)が分離課税されます。
※詳しくはお近くのJAしみず窓口までお気軽におたずねください。



独身農業者の出会いの場

2018年度 第1回
農コン×ウィークエンドアグリ
参加者大募集

8月4日(土) 11:00～16:00 (10:30受付開始)

- 対象
- ①市内で農業を営む25歳から49歳までの独身男性 12人
 - ②農業に興味のある25歳から49歳までの独身女性 12人



- 会場 そば工房 はまいし バーベキュー場
- 内容 バーベキューで婚活 
- 参加費 2,500円
- 申込方法 市コールセンター(054-200-4894)へ電話にてお申込みください。(応募多数の場合は抽選)
- 申込方法 2018年7月4日(水)～7月16日(月)まで
- お問い合わせ 静岡市役所 農業政策課 農業支援係
TEL : 054-354-2086
FAX : 054-354-2482
mail : nougyouseisaku@city.shizuoka.lg.jp

日々、頑張って農作物を作っているのに、忙しく、なかなか出会いがない。そんな独身の農業者の方、ぜひご参加ください。これまでに7組のカップルが結婚されています。きっと素敵な出会いがあるはず!8組目はあなたかもしれません。



監事会からのお知らせ

組合経営の健全な発展に資するため、農協法(第35条の5)および農協法施行規則(第81条)により、理事の職務遂行に関する情報がありましたら、下記までご連絡ください。

連絡先

〒424-0192 静岡市清水区庵原町1番地
清水農業協同組合 監査室内 代表監事 岩崎行雄 宛



※情報提供は、必ず住所・氏名を明記のうえ、封書でお願いします。
※ご好意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねますので、予めご了承ください。
※当JAの業務に関する一般的な苦情については、別途窓口(総務部)を設置しておりますので、そちらをご利用ください。

農機農具掲示板

農業をやめたり、作物を変更した生産者の皆さんが不要になった農機や農具を、必要な方に有効利用していただくための情報提供の場です。掲示板の利用は各営農窓口へお問い合わせください。

譲り受けを希望する方、譲り渡しを希望する方ともに、営農センター・営農拠点にある「農機・農具の掲示板申込書」に必要事項を記入して、提出してください。



探しています!

種別	ニッカリモノラックの台車(荷台)
型式	コンテナ5個用
数量	1台
価格	現物を見て相談
連絡先	望月(清水区但沼町) 054-393-2686

探しています!

種別	鍬、シュレッダーほか農機・農具
型式	問わず
数量	1台
価格	現物を見て相談
連絡先	池田(清水区吉原) 090-9187-3092

理事会だより | 定例理事会:5月28日(月)

議事

- 平成29年度貸借対照表、損益計算書及び注記表の内容並びにJA全国監査機構の監査報告及び監事の監査報告並びに事業報告及び剰余金処分案について
- 静岡市補助金等交付規則に基づく補助金の交付申請、請求、受領及び実績報告等についての権限の一切を組合に委任することについて
- 第46回通常総代会の開催について
- ブロック別総代会について
- 平成29年度決算部門別損益計算書について
- 組合員の出資口数減少の申し出について
- 理事に対する貸出議案について



皆さんからの投稿大募集!

おたよりはもちろん、短歌、俳句、川柳、絵手紙、イラスト、写真など、読者の皆さんからの投稿をお待ちしています!郵便番号、住所、氏名(必要な方はペンネーム)、年齢、電話番号、写真には簡単なコメントをお書き添えの上、ご応募ください。採用された方にはお米券を差し上げます。



郵便 〒424-0192
静岡市清水区庵原町1番地
JAしみず広報課 宛

FAX 054-364-8851

MAIL ja-shimizu@shimizu.ja-shizuoka.or.jp

携帯電話からの応募はこちら



●お詫びと訂正 しみずの風2018年6月号に下記の誤りがありました。訂正してお詫びいたします。
誤) 5ページ 写真の説明 七回目 春風亭遊馬さん > 正) 5ページ 写真の説明 七回目 三遊亭遊馬さん

編集後記

営農指導員の特集を組みました。各担当それぞれが組合員、農業の為に日々行っている取り組みを、クローズアップしています。これはほんの一例です。まだ形になっていない取り組みや、他の指導員も今後、紹介していきたいと思っています。いままでも、これからも。農業の未来と豊かな地域づくりを、JAは支えています。(伊藤)

本誌15ページですが、昭和30年代当時のお話を伺いながら手に持った写真を見ると、人々の生活や子どもたちの声、増築現場やロープウエーの音などが伝わってきました。たった1枚の写真には、様々な状況を思い起こさせる魅力があるとあらためて感じました。私も、そんな魅力ある写真が撮れるよう日々精進を続けます。(蒲生)

今号の特集で営農指導員の取り組みを掲載しました。取材をするまで知らなかった活動も多く、感心することばかりでした。同じ組織内でも他の部署の取り組みを把握しきれないことに反省をしつつ、今まで以上に他部署との情報共有を密にしていこうために、できるだけ多くの情報を収集・提供できるよう活動していきたいです。(佐藤)

ワッパワッ みずっ子

ぞあ遊ぶぞ!ほくら元気っ子♪

0~5歳児99人が通う
有度北こども園では、
子どもの主体性を尊重した
保育に取り組んでいます。
子どもたちは遊び方など
自分で考えながら、楽しく元気に
過ごしています。

有度北
こども園
(清水区長崎)

有度北こども園だーいすきっ!



ザリガニたくさん捕まえた〜!



お砂のお菓子だよ!



お団子じょうずにできたよ!



お兄ちゃんもやさしいヨ



ママみたく上手にできるかなあ〜



ばっくり上手になりました!

特製ジュース
でえ〜す!



やったあ!
ほくらが
一番だ★

こども園
楽しいよ!



出演募集

このコーナーでは、ご出演いただける
清水区内のこども園や保育園、幼稚園
を募集しています。詳しくは左記のJA
広報課まで!



3ページ
QRコードで
チェック!